

※一部非公開

令和4年度入学試験問題（後期日程）

小論文

国際地域創造学部 国際地域創造学科

（国際的思考系）

（昼間主コース・夜間主コース）

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

以下の英文を読んで、あとの各問に日本語で答えなさい。なお英文において、アンダーラインを付した語句については、文末に注が記されているので参考にしなさい。

非公開

非公開

(“We Are What We Eat: Asian Americans and Food” by Oliver Wang, <https://www.pbs.org/food/features/eat-asian-americans-food>, 2020/08/04, 抜粋・一部改変)

<注>

注 01 Cantonese 広東 (カントン) の

注 02 Taiwanese 台湾の

注 03 second-generation Asian American この場合は、親が移民 (1 世) で、著者はアメリカ生まれの 2 世のアジア系アメリカ人ということ。

注 04 memoir 回想録

注 05 assimilation 同化

注 06 acceptance 受容

注 07 homemade 自家製の

注 08 self-affirmation 自己肯定

注 09 self-sufficiency 自己充足

注 10 self-empowerment 自己強化

注 11 chefs 料理長, シェフ

注 12 blogs and websites ブログとウェブサイト

注 13 foodie 食通

注 14 adventurous 大胆な

注 15 cutting-edge 最先端の

注 16 conductors 指揮者

注 17 gastronomical 食の

注 18 nourishment 栄養

注 19 epicureans 美食家

問1 アジア系（中国系）アメリカ人である著者の食文化の意義は、子供の頃から現在に至るまでどのような変遷を辿ったと説明されていますか。本文の内容をもとに、500字以上、600字以内で要約して述べなさい。

問2 自分と全く異なる歴史的・文化的背景を持つ外国出身の人と異文化交流をしようとしていると想定してください。あなたは自分の文化をどのように説明しますか。具体的な例（例えば、食、スポーツ、服飾など）を挙げながら500字以上、600字以内で記述しなさい。

令和4年度入学試験問題（後期日程）

小論文

国際地域創造学部 国際地域創造学科

（国際的思考系）

（昼間主コース・夜間主コース）

出題の意図

この小論文では、受験生の基本的な英語読解能力を測るとともに、本学部のアドミッション・ポリシーにある「現代の地域・国際社会をめぐる多様な課題に対する関心」や「他者や異文化の持つ多様な価値観に対する柔軟な態度」など、国際的思考を持ち合わせているか判断することを意図している。問題には、アメリカ社会の中で長く「他者」として扱われてきたアジア系アメリカ人の主体の形成とアメリカの食文化の関係について記述された英文を選んだ。問1では、受験生に、作者の大意を要約させることで、読解の正確さと理解度を測り、問2においては、受験生が文化的他者に寄り添いながら、自らの文化について適切に説明し、論述できるかを判断する。